

国立研究開発法人科学技術振興機構
次世代研究者挑戦的研究プログラム

千葉大学 全方位・挑戦的融合イノベーター
博士人材養成プロジェクト

令和6年4月採択(追加募集)
募集要項

令和6年2月9日

国立研究開発法人科学技術振興機構

次世代研究者挑戦的研究プログラム

「千葉大学 全方位・挑戦的融合イノベーター 博士人材養成プロジェクト」

募集要項

<プロジェクトの概要>

千葉大学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が公募した「次世代研究者挑戦的研究プログラム」（SPRING事業）に採択され、令和3年10月から「全方位イノベーション創発博士人材養成プロジェクト」として事業を実施してきました。

当該プログラムは、既存の枠組みを越えて博士後期課程学生の自由で挑戦的・融合的な研究を支援するとともに、学生が研究に専念できる環境を整備し、併せてキャリアパスの支援などを行うことで、優秀な博士後期課程学生を多様なキャリアパスで活躍できる博士人材へと導く事業です。

令和6年度からは、同じくJSTが実施してきた「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」と一本化して「次世代研究者挑戦的研究プログラム」として公募され、本学も「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」として新たに申請しているところです。

千葉大学は、本プログラムに採択され次第、「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」を開始し、博士後期課程の全専攻から優秀な学生を選抜して研究奨励費等を支給するとともに、様々なキャリアパス支援に向けた取組を行っていきます。

これにより、我が国の超高齢少子化や大規模災害等の課題、新規感染症等の人類共通の課題に迅速に対応し、様々な研究分野やセクターでイノベーションを創発する博士人材を養成します。

「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」ホームページ

<https://imo.chiba-u.jp/ALDI/>

※本プロジェクトは本学が申請中のJST「次世代研究者挑戦的研究プログラム」（SPRING事業）に採択されることを前提としており、採択結果（採択通知：2月以降）によっては募集を中止又は支援人数・内容が大幅に変更となる場合があります。

1. 募集人員（JSTからの支援人数により変動します。）

令和6年4月現在 1年次に在学する者 若干名

令和6年4月現在 2年次に在学する者 若干名

令和6年4月現在 3年次に在学する者 若干名（休学期間を除き、在学月数が25ヶ月以下の者）

令和6年4月現在 4年次に在学する者 若干名（休学期間を除き、在学月数が37ヶ月以下の者）

2. 支給額

月額18万5千円を研究奨励費（生活費相当額）として各個人に支給します。

なお、この奨励費は雑所得として課税の対象となり各自で確定申告が必要です。

これに加えて、年額20万円から150万円までの範囲内で研究費も支給されます。

3. 申請資格

申請できる者は、次の(1)から(3)の全てに該当する者としてします。

(1) 令和6年4月時点で千葉大学大学院博士後期課程の次の3年制10専攻と4年制2専攻に在学する者。

または、令和6年4月に入学（申請時点で千葉大学に在籍していなくても可）を予定している者。

人文公共学，数学情報科学，地球環境科学，先進理化学，創成工学，基幹工学，

情報・データサイエンス，環境園芸学，先端医学薬学，先進予防医学共同，先端創薬科学，看護学

(2) 本プログラムにおいて実施する選抜試験を受験できる者

(3) 次の(ア)から(キ)のいずれにも該当しない者

※本プロジェクト申請後又は合格後の在学中に、いずれかに該当するようになった場合は、本プロジェクトを辞退していただきます。

(ア) 標準修業年限を超過する学生。

(イ) 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員

(ウ) 本学や企業等から、生活費相当額として十分な水準（※）で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生。

(エ) 国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生，本国からの奨学金等の支援を受ける留学生。

(オ) 大学推薦の奨学金に申請，または受給が決定している学生。

(カ) 併給不可の財団奨学金に申請，または受給が決定している学生。

(キ) 併給不可の日本学生支援機構奨学金に申請，または受給が決定している学生。

※ 生活費相当額として十分な水準は、他の事業等を踏まえ、240万円／年を基準とします。

4. 申請手続

(1) 申請書受付期日

令和6年2月16日（金）午前10時まで

申請書類は、電子メールでの提出となります。

件名を「全方位プロジェクト申請書専攻・学年・氏名」とし、なお専攻・学年は令和6年4月時点のものとしします。

申請書類にパスワードをかけたものを添付のうえ、下記の申請書提出先メールアドレスへ

提出してください。また、パスワードは同じ件名を使用し、別メールにてお知らせください。

受付期間内に到着しない場合は、受理しません。

(2) 申請書提出先

千葉大学研究推進部研究推進課 全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト担当

E-mail : kenkyu-jisedai@chiba-u.jp

5. 申請書類

下記の書類を揃えて提出してください。

※提出書類に記載する所属先及び学年は、すべて令和6年4月時点からのものを記載してください。

提出書類	摘要
(様式1) 「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」選抜試験申請書	ファイル名を「01. 申請書 (専攻・学年・氏名)」に変更して、必要事項を漏れなく記入のうえ、データをPDF形式に変換し提出してください。
(様式1-2) 「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」選抜試験受験票	ファイル名を「02. 受験票 (専攻・学年・氏名)」に変更して、氏名の記入・写真の貼付をした上でデータをPDF形式に変換し提出してください。
(様式1-3) 誓約書	ファイル名を「03. 誓約書 (専攻・学年・氏名)」に変更して、申請者が署名のうえ、データをPDF形式に変換し提出してください。
TOEIC, TOEFL等の外国語試験 (英語以外の外国語も対象) のスコアカードの写し	ファイル名を「04. スコアカード (専攻・学年・氏名)」に変更のうえ、データをPDF形式に変換し提出してください。スコアカードが準備できない場合は、発表済論文等の語学力が確認できる書類を提出してください。

下記の書類は指導教員が提出してください。

提出書類	摘要
(別紙様式1) 「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」申請者評価書	<p>本様式は、指導教員が提出する様式となります。申請者が、指導教員に依頼し、指導教員が下記URLのフォームを使用し2月16日(金)午前10時までに送信してください。</p> <p>〈Microsoft Forms〉 https://forms.office.com/r/4nG3R8R3Pe</p>  <p>なお、本URLを使用できない場合は、前記のプロジェクト担当へお知らせください。</p>

6. 選抜方法等

選抜は、書面審査 (提出書類等)、筆記試験及び面接により行います。

なお、オンライン試験は実施しません。

(1) 選抜試験科目

- ① 筆記試験：小論文 (日本語もしくは英語)
- ② 面接：約1分間の自己アピール及び質疑応答 (日本語もしくは英語)

(2)選抜試験日時・会場

科目	月 日	時 間	試験会場
筆記	令和6年3月26日(火)	10:30~11:30	千葉大学西千葉キャンパス
面接		13:00~16:30	

※筆記試験の受付時間は、9:40~10:10となります。

7. 注意事項

- (1) 試験会場の案内は3月22日(金) 12:00までに通知をします。
- (2) 申請書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (3) 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。
- (4) 選抜試験の過程で収集した個人情報、選抜試験の実施のほか、管理運営業務、就学指導業務、プロジェクト選抜方法等における調査・研究に関する業務を行うために利用します。
- (5) 選抜試験の方法や日程を変更する可能性があります。その際は、全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクトホームページもしくは、申請者にメールにてお知らせします。

8. 合格者発表

令和6年4月12日(金) 16:00

全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクトホームページで発表します。

辞退を希望する場合は、4月17日(水)までに、文末のお問い合わせ先までご連絡ください。

合格者の辞退等により、追加合格を行うことがあります。追加合格者には、4月18日以降に個別に連絡をします。

9. 支給期間

研究奨励費(生活費相当額)は、令和6年4月から最大3年間(4年制博士課程においては最大4年間)

また、退学あるいは支給資格を満たさない状況になった時点で支給を終了します。

さらに、休学期間中は支給を停止します。休学期間が2年以内に終わった場合は、復学の手続きをすることにより、支給が再開されることがあります。また、休学期間が2年を超える場合は、プロジェクト生としての資格を失います。

10. ジョブ型研究インターンシップ

「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」の支援を受けるためには、本プロジェクトに採択後、ジョブ型研究インターンシップ推進協議会のマッチング専用システムへ登録することが必須となります。(参考URL <https://coopj-intern.com/>)

11. 研究倫理教育

「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」に合格した者は、eAPRINの研究倫理教育の受講が必須となります。研究費は、受講修了確認後に支給されます。

eAPRINの案内はプロジェクト合格者へ個別に通知します。

12. 研究費の執行

「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」に合格した者は、本学の会計規程等に準じて研究費を執行しなければなりません。

1 3 . 合格者に求められる活動

「全全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」に合格した者は、下記の主体的な活動が求められます。

- (1) 「文系・理系統融合ローテーション演習」（主専攻と異なる分野での演習）を実施。
- (2) ダブルメジャー力として、主専攻と異なる分野の教員を2人目の指導教員とし、2つの分野で成果をあげる。
- (3) 「自主研究チャレンジ」の立案・実施。
- (4) 「自主発展型海外留学・研修、インターンシップ」の企画・実施。
- (5) 「イノベーション創発セミナー」や「全方位学生企画フォーラム」等の企画・実施。
- (6) 本プロジェクト修了後の就職状況、研究成果についての調査協力

1 4 . 「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」ガイダンス

「全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト」学生へのガイダンスを行う予定です。ガイダンスの詳細はホームページ等で公表します。

【お問い合わせ先】

千葉大学研究推進部研究推進課 全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト担当

E-mail : kenkyu-jisedai@chiba-u.jp